

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



檜田 充 議員

市民の会



公契約

好循環を生み出す公契約条例の制定を

議員 公契約条例の制定は、市の発注工事・業務で働く労働者には適正な賃金と労働条件、事業者には過当競争の排除で公正な入札、市民には公共サービスの品質確保・向上、市には地域経済活性化で税収増など、各方面に効果があると思うがどうか。

公契約条例の制定は考えていない

市 当該条例は、最低賃金額への上乗せ等を行うことから、適正な労働条件等の規定にあたり労働法規との関係を踏まえる必要があるため、現行法を上回る規定の設定は地域差が生じないよう国での法整備により対応されるべきであるとする。(田村市長)

他の質問 ● 森林・里山保全の課題について 他1件

市民病院

市民病院再編統合の推進体制は

議員 凍結期間の遅れを取り戻すためにも推進体制の強化が必要で、協議等では、「監」や「理事」等の要職をつける必要があるのでは。また、担当レベルでも建築等の専門知識を要する業務に備えた推進体制の強化を図るべきでは。

要職や専門職を含めた組織体制を構築する

市 病院再編について時間的猶予はないと考えており、関係機関との連絡調整を円滑に行うには、組織体制の強化が重要。今後、関係機関との調整機会の増加も想定されるため、要職や担当レベルでの専門職の配置等を含めた必要な組織体制を構築していく。(田村市長)

他の質問 ● 令和6年度予算編成について ● ひまわり特別支援学校への支援について

検証しました 議員定数

市議会では、議員の任期ごとに定数の検討を行っており、今期は議会改革推進会議を6回開催し、類似団体の議員定数、市域面積や常任委員会活動日数などを比較検証しました。その結果、議会報告会、伺います！さんだ未来トークの開催などの取組を踏まえ、より多くの市民の意見が反映できるよう議会の役割を果たすためには現状の定数維持が必要であること、また、市政に関わる重要案件である新ごみ処理施設の整備などの大規模投資事業が今後控えており、二元代表制の一翼を担う議会としてこれまで以上に行政を監視していく必要があることから、議員定数は現状22人とすべきとの検証結果に至りました。それを踏まえ、会派代表者会での協議結果も現状22人となり、12月定例会最終日に議長より検証結果を報告しました。

大学生と意見交換しました

11月21日(火)に関西学院大学三田キャンパスの久保教授の「都市政治学」の授業に議会改革推進会議の議員6名が参加し、学生20名と「まちづくりにおける議員の役割」について意見交換いたしました。学生の皆さんには、若者が市政に関心をもっと持つことの必要性、さらに、まちの魅力を高める施策の難しさも感じ取っていただけたようです。今後も機会があれば、このような意見交換ができればと考えています。



令和5年

12月定例会の結果

11月24日~12月25日 (会期:32日間)

市長提出議案 23件 (うち1件は撤回承認)
委員会提出議案 1件
請願 2件
陳情 1件



全議員が賛成した議案

- 予算 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)、介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 予算案件7件
条例 市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正、高平ふるさと交流センター条例の一部改正 など条例案件5件
その他 さんだ市民センター大規模改修工事請負契約の締結、ガラス工芸館の管理に係る指定管理者の指定 など事件決議3件
教育委員会委員の任命同意、農業委員会委員の任命同意 人事案件2件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案 (森本政直議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

Table with columns for council members (福田秀章, 幸田安司, etc.) and rows for various proposals (問責決議, 予算, 条例, 事件決議, 請願) with approval/rejection symbols.